

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立横路小学校
(横路中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	+8.2	+5.0	+10.9
令和6年度	+16.3	+10.6	-
令和5年度	+5.8	+2.5	-
令和4年度	+11.4	+7.8	+9.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>本校 <u>75%</u> 全国 <u>66.8%</u> 県 <u>69%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。 (設問3二(2)【読むこと】(平均正答率51.7))</p> <p>◇話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。 (設問1三2【話すこと・聞くこと】(平均正答率70.3))</p> <p>改善の方策</p> <p>◎全学年において、説明文を読んで分かったことをキーワードで抜き出したり、短い言葉でまとめたりする活動を設定する。高学年では、様々な説明文の構成を読み比べ、それぞれの論の立て方のよさを読み取ったり、接続語や文末表現に気をつけて読んだりして、事実と意見を区別して表現する場を設定する。</p> <p>◇話し手の話の内容をメモをとったり、思考ツールに整理したりして自分の考えと比べる活動を取り入れる。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問3二(2))(第5,6学年,1月)目標80%→結果95%</p> <p>◇標準学力調査(1~6年,12月)目標 全学年全国平均以上→結果83%(5学年達成)</p>
<p>算数</p> <p>数と計算</p> <p>本校 <u>63%</u> 全国 <u>58%</u> 県 <u>59%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることに課題がある。(設問3(3)【数と計算】(平均正答率33.9))</p> <p>◇分数の加法について、通分をすることの意味が正確に理解できておらず、もともとなる数を見付けることができていない。また、言葉を使って説明することにも課題がある。(設問3(2)【数と計算】(平均正答率28.0))</p> <p>改善の方策</p> <p>◎3年生以上において、1の目盛りをいろいろな単位分数に分けて、1を構成している分数の理解を図る。実際にノートに書いたり、タブレット上でブロック操作をしたりするなどして実感を伴わせて理解させる。</p> <p>◇全学年において、問題文に線を引いたり、大事なところを囲んだりする習慣を付ける。3年生以上では、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、考えを筋道立てて説明をする経験を積ませる。その際、図や式、絵や数値を用いて説明する場を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問3(2))(第5,6学年,1月)目標80%→結果89%</p> <p>◇標準学力調査(1~6年,12月)目標 全学年全国平均以上→結果67%(4学年達成)</p>
<p>理科</p> <p>エネルギー</p> <p>本校 <u>68%</u> 全国 <u>57.1%</u> 県 <u>59%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎複数の自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見いだしていくことに課題がある。 (設問3(4)【「生命」を柱とする領域】(平均正答率55.9%))</p> <p>◇考察をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述することに課題がある。 (設問2(1)【「エネルギー」を柱とする領域】(平均正答率18.8%))</p> <p>改善の方策</p> <p>◎観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目した問題を見いだす場面を設定する。また、実験結果からさらに必要な追加実験の有無について児童同士で考え説明させる場面を授業の中で設定する。</p> <p>◇考察をより確かなものにするための実験計画を複数考えさせ、どの実験が最も目的に合っているかを理由付きで説明させる場面を授業中に設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問3(2))(第5,6学年,1月)目標80%→結果91%</p> <p>◇単元末テストの(思考・判断・表現)領域の平均正答率 目標85%→結果85%</p>

【来年度に向けて】

各教科とも、基礎基本の読解力や計算力を確実に積み上げていくために、帯タイムでの反復練習やキュービナを活用したドリル学習に確実に取り組ませる。算数においては、問題文から正しい情報を取り出して図や関係図などに表すなどして立式に結び付ける時間を設ける。その際、ロイロノートの共有ノートや提出箱などを活用して交流の場を広げる。